



特許等取得活用支援事業

## 消雪パイプの詰まり解消に挑戦 独自技術の特許出願して事業化

プラントのメンテナンスや洗浄の仕事に長年携わっていたことから、消雪パイプの詰まりの解決策を相談され、独自に洗浄装置を開発。事業化の目途がついたことから工法の特許出願して独立起業。技術で社会貢献を目指す。

### 株式会社管通

〒010-1606  
秋田県秋田市新屋寿町1-26  
Tel. 018-807-3315  
Fax. 018-807-4020  
http://管通.jp/  
E-mail kantsumail@gmail.com

### 消雪パイプの再生事業で独立起業

株式会社管通は、中村勤社長が火力発電所などの大型プラントのメンテナンスや洗浄を事業とする会社から独立して、昨年6月に起業した会社だ。

独立のきっかけは、道路に埋設された消雪パイプの詰まりを解消できる方法はないかと相談を持ちかけられたことであった。地下水を利用する消雪パイプは、サビのために施工後5年ほどで詰まり始めることがあり、放置しておくとも完全に詰まってしまって機能しなくなることがある。そのようなケースは全国に数多くあるという。

### 特許の出願で事業の足場を固める

中村社長は独自に洗浄装置を試作し試験施工したところ、上々の成果であったため、自ら開発したシステムの特許出願し、事業化に踏み切った。

「起業前に特許取得の可能性についてあきた企業活性化センターで相談に乗ってもらって一定の見通しがついたことで事業化に弾みがつきました」(中村社長)

センターでの相談を経て、弁理士に無料で相談でき

る制度を利用し、本年4月に正式に特許申請に踏み切った(特許申請そのものにかかる費用は実費)。

従来は、消雪パイプの詰まりを解消するための決め手となる工法がなく、いよいよとなれば道路を掘り返すしかなかった。それに比べると中村社長の考案した工法は低コストで工期も短く実効性も高いことから、自治体の関心も高く、今後は全国の消雪施設の維持管理を手広く行っている会社を通して広範な引き合いが見込まれる。

### ドライアイス洗浄がもう一つの柱

消雪パイプ洗浄以外でもう一つ中村社長が力を入れているのが「シェーブドライアイス洗浄工法」。削ったドライイスを高圧で吹き付けることで汚れをはぎ落とそうというもので、水や研磨剤などが飛び散ることもなく、印刷会社や食品工場などの環境に配慮しなければならない現場での洗浄に適している。海外で開発された最新の洗浄工法だが、日本の洗浄業者としては管通が初の導入になる。



- 1 試験施工で消雪パイプの詰まりが解消し路面が現れた湯沢市内の歩道。
- 2 自ら考案したシステムで起業し事業化した中村勤社長。
- 3 サビの付着で詰まり始めた消雪パイプの断面。
- 4 管通の洗浄施工で詰まりがきれいに取り除かれる。

### 事業の解説

#### 特許等取得活用支援事業

特許や商標などの知的財産に関する相談(出願等の手続き支援、知的財産に関する各種支援施策の紹介・説明)を行います。高度な専門性を要する案件は専門家(弁護士・弁理士等)も交えて対応します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／知財・研究管理担当まで。